

# WISH

2019年3月1日

発行: 飯南高校PTA 広報委員会

島根県飯石郡飯南町野萱800 〒690-3401

Tel. 0854-76-2333 Fax. 0854-76-2344

URL <https://iinan.ed.jp>

## ごあいさつ

飯南高校PTA会長 長谷川 孝 志



先ずは、一年間無事にPTA会長を務めさせていただいたことに対し、お礼申し上げます。何とか務めさせて頂けたのも保護者の皆様、教職員の皆様方のご理解とご協力があったの事と感謝致しております。本当にありがとうございました。

さて、本校は今年度70周年という節目の年でした。現在の飯南高校に至るまでの長い時間の中で携わってこられた関係者の皆様、歴代の卒業生の皆様のおかげもあって、私共の子ども無事に飯南高校で学び、

卒業を迎える事となりました。改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。

飯南高校は、地域からの期待も大きく地域の活性化も担っている高校です。PTA活動は、また来年度の新たな役員体制へとパトタッチされていくわけですが、伝統ある事業を継承されると共に、時代に沿った新たな発想による飯南高校らしい事業展開も期待したいと思っています。

最後になりましたが、卒業する3年生の皆様、卒業を迎えられる保護者の皆様、誠におめでとうございます。この3年間でより大人になり、頼もしさも格段に増したのではないのでしょうか。これからは、子ども自らが自覚と責任を持って進んで行く時期です。個性を生かし、社会の一員として活躍されることを期待しています。

1年間ありがとうございました。

## 後に残るもの

飯南高校 校長 秦 勉



保護者の皆様には日ごろより、本校の教育活動にご理解ご協力をいただき厚くお礼を申し上げます。思いがけない暖冬となった今年の冬ですが、まもなく卒業生を送り出す季節となりました。彼らにもそして飯南町にももうじき春がやってきます。

「団塊の世代」という言葉をご存じの方も多いと思います。団塊世代とは1947~49年頃に生まれた方を指し、戦後ベビーブームと言われていています。そして1971~74年頃に生まれた方を「団塊ジュニア世代」と呼ぶこともご存じかもしれません。保護者の皆さんの中にはこの「ジュニア世代」に属していて就職にあたっては超氷河期という時代を経験された方もあると思います。この「団塊」という言葉は作家の堺屋太一氏が小説のタイトルとして世に広めたことが始まりです。彼は官僚から作家に転じ、政治の世界でも名をなした人物です。前回1970年の大阪万博の成功にも尽力したことで知られますが、先月惜しまれながら鬼籍に入りました。彼の死後この「団塊」という言葉がまた取り上げられていますが、今後もこの言葉は長く使われるでしょう。安易にカタカナを使ったりせずに、本来地質学で使うこの言葉を世に問うたことが今につながっています。目に見える形はなくともこの言葉が残ることで、我々は戦後のある時代を明確に連想できます。一つの言葉で時代背景だけでなくそれぞれの人生も語る事ができます。

昨年生徒会誌に、鳥取市出身の岡島礼奈さんの話を書きまし

た。実は今年に入ってその人の続編とも言うべきニュースが飛び込んできました。彼女は「好きな時に流れ星を生み出せたらいいな。」という少女のようなロマンチックな夢の実現に、本気で挑んでいる三十代後半の女性です。中学時代に始まる宇宙への夢を大学進学、大学院での天文学専攻につなげました。さらに彼女は将来の人工流れ星実現に向け、外資系金融大手企業に就職しました。一見畑違いと思われそうな企業に就職したのは金融の仕組みや資金の作り方を学ぶためだったのです。そして2011年に人工流れ星実現のためのベンチャー企業「AL E (エール)」を始動させました。その夢が今春第一歩を踏み出しました。1月18日に小型ロケット「イプシロン」にこの流れ星衛星が搭載され打ち上げが成功したのです。予定では来年の春、最長10秒くらいの人流れ星が見られるという壮大なまさに夢のような計画です。僅か10秒の流れ星かもしれませんが、この10秒は歴史に残る10秒になりいつまでも人の記憶に残るでしょう。

世の中には永続的に目に見える形や人の振る舞いとして残るものがあります。その一方で一瞬で消えたり、目に見えないが人の心にしっかり焼き付けられるものもあります。学校の教育とはこの両者のバランスを理想としているように思います。前者の代表は日々の活動の「継続」と言えるでしょう。学習の継続(机に向かい、生涯学ぶことを知る)、運動の継続(体を動かすことを覚える)、集団活動の継続(協調性を学び自ら手や口を動かすようになる)などがその柱です。そして後者は感動です。心を揺さぶる経験です。生徒一人ひとりには高校3年間で終える時きつと「後に残るもの」があります。飯南高校で学んで「後に残るもの」を手にしてもらえるよう、これからも二つを求める学校でありたいと思います。

# 創立70周年記念式典開



学校長 秦 勉



鵬雲会 小野 覺様



島根県教育委員会教育監 高橋泰幸様

## 記念品

イラスト／本校卒業生ぽんとごたんだ様  
文字／本校書道同好会



本の寄贈もありました。ありがとうございました。



記念掲示

# 開催【10月20日】



飯南町長 山崎英樹様

飯南高校体育館にて創立70周年記念式典を開催したところ、50名近い来賓の方々がお越しくださいました。保護者の皆様・生徒・教職員合わせて300名を超える参列者となり、厳かな雰囲気の中、執り行われました。

創立70周年記念事業実行委員長として鵬雲会会長 小野覺氏から挨拶があり、島根県教育委員会 高橋泰幸様、飯南町長 山崎英樹様からご祝辞をいただきました。アトラクションでは、飯南神楽団による「山姥やまうば」が上演され、本校在校生・卒業生が多く出演しました。生徒の活躍には目を見張るものがあり、伝統が若者に受け継がれていることを実感できる、学校と地域が一体となったとても良いアトラクションでした。

その他、創立70周年記念誌が近々完成の予定です。また、環境整備事業として、念願の屋外用トイレが今春完成予定です。



生徒会長 岡野 蓮さん



記念アトラクション「山姥やまうば」飯南神楽団  
本校の生徒も舞手と奏者として参加しています。

# 1年間の学校生活

1年生『国際交流体験学習』(台湾)



伝統芸能を練習



1/29『地域医療を学ぶ』  
(飯南病院)



市林夜市



昼休みパン屋さんに行列



7/17『野球応援』

暑い中3年生の  
リーダーを中心に  
がんばりました。  
吹奏楽も一生懸命!



1/17『要約学習』



合唱が



やさしい鶴瓶さん!!



8/25『鶴瓶の家族に乾杯』のロケで来校されました。



2年生 10/17『R54 清掃』



頓中・赤中の生徒といっしょに



3年生シンポジウムに参加

お昼はカレーです。  
(テッパン)

2年生 1/30『スキー教室』



寮生食育講座

10/25『ロードレース』



12/20『寮クリスマス会』



メニューの例



小さな応援が  
大きな力となりました。



優勝おめでとう

んぱるぞー!!



9/1『鵬雲祭』



3年生を中心に  
熱いダンス





ロードレース  
豚汁サービス



鵬雲祭模擬店



Congratulations  
卒業生保護者  
からのメッセージ



## 旅立ちの日に

早いもので、あっという間に3年が過ぎてしまいました。笑ったり、叫んだり、怒ったり、悩んだり、いろいろなことがありました。

私は、卒業を迎えるこの時期、必ず聞きたくなったり、いつの間にか口ずさんでいる曲があります。それは川嶋あいの「旅立ちの日に」です。我が子が中2の時、3年生を送る会で在校生全員で合唱した曲です。本人はその後、あまり歌っていないかもしれませんが、歌

詞の大好きな部分をエールとして送ります。

今始まる 希望の道 今日までありがとうね  
思い出の校舎と別れを告げ 今新たな扉開き  
遙かな年月隔て つぼみから花咲かせよう

同時に私も保護者として最後の日を迎えます。これからは卒業生として、飯南町民として、飯南高校を応援していきたいと思ひます。

ありがとうございました。

## 卒業によせて



中高一貫教育で飯南高校へ進学をさせていただき、今では親も娘も良かったと思っています。

思い返せば、3年前、期待と不安で高校生活を迎えるにあたり、娘にとっては不安のほうが大きかったかもしれませんが、3年間何事もなく高校生活を送ることが出来たのも飯南高校の学校環境に恵まれたお陰だと思います。特に部活動に打ち込む姿は親から見ても感動します。生まれ持った負けん気の強さもあるかもしれませんが、顧問の先生にとっても良くしてもらい、時には厳しく時には褒めていただき、本人のモチベー

ションをうまくコントロールしてもらったと思います。また、担任の先生方には、進路等で親身に相談に乗っていただいたり、本人へのアドバイスも的確にいただいたと思います。これらの学校環境があつてこそ、充実した高校生活を送ることができたのだと思います。飯南高校は小規模校ではありますが、きめ細やかな指導や、小規模校だからこそ一人ひとりの生徒と先生方が向き合える学校であると感じました。これからも飯南高校の校風を大切に、より一層魅力ある学校としていただきたいです。

## 飯南高校バンザイ!!



ついこの間、上の子ども2人が高校を卒業したような気がしていましたが、いよいよこの春、3番目の息子も卒業を迎えることになりました。主人も私も飯南高校の卒業生なので、今でも共通の話題が出て話が弾み、とても楽しいです。また、子ども3人の部活動を通じて、たくさんの保護者のみなさんと協力したり、いろいろなイベントをしたりととても楽しく良い思い出になりました。先生方もとても話しやすく進路や部活動のことなど、子どもも親も相談させていただき、良い環境の中で3年間過ごせたことに感謝しております。

飯南高校は、地域のみなさんや保護者のみなさんが

いろいろな場面でとても協力的で、特にPTA活動はスバラシイと思います。学校側と保護者、地域のみなさんあつての飯南高校!! PTA副会長をさせていただいたことで気づかせていただきました。

子どもたちは本当に幸せ者だと思います。3年間で学んだこと、仲間の大切さ、部活動を通じ精神面で強くなったことなどこれからの人生すべてに活かされることばかりです。自信を持って自分を信じて、夢に向かって進んで行ってください。

卒業おめでとうでございます。そして飯南高校の益々のご発展をお祈りいたしております。



## 卒業によせて

創立70周年の飯南高校校舎へと向かう上り坂では、グラウンドから25周年を迎えた硬式野球部の元気な声が響き渡ります。息子が自分で決めた道、「飯南高校に入って野球がしたい」入学から3年、とても早いものです。

活気あふれる学校生活、部活動を通してさまざまな経験をしたことでしょうか。テストで目標を達成できずくじけた姿、野球の試合に負けたときのふてふてしい態度。家庭では父親との大喧嘩。辛さも喜びもありましたが、振り返るとすべて貴重な経験となり、日々学び日々成長させていただいた飯南高校生活。一期一会の出会い、大切な大事な出会いのもと、各学年の担任

の先生方をはじめ学校関係者の皆様、素晴らしい友達に感謝申し上げます。

ある有名な政治家の言葉で「必要なのは学問。学問は現在に生きている。」という言葉があります。志を持った人間がいつでも学ぶことができる生きるための知恵です。我々大人も忘れてはならないことです。春からは社会人となりますが、日々さまざまなことを学んで自分に問いかけてほしいと思います。時代の大きな社会変革、急激な変化の中ではありますが飯南高校で培ったことを忘れず、感謝の心を持ち歩いてほしいと思います。

## 「成長期」おめでとう



飯南高校での生活は、子どもにも親にも、いろいろなことがあった3年間でした。でも、今、振り返ってみると、どっちにとってもかけがえのない「成長期」だったかなと思います。サイズの合わない制服を着て、自信なさげに入学式に出ていた子どもは、いつの間にか元気よくあいさつをし、人前で堂々と話ができる子どもになっていました。飯南高校の3年間で、さまざまな素晴らしい体験を積み重ねたことによるものだと思います。進路に関しては、子どもの思いと親の思いはちがって当たり前。別々の人格なのですから。でも、

親はいつでも子どものことを思ってるさく口を出してしまい、言い争うこともありました。これも、子どもがもう少し大人になったら、わかってくれるようになるかなあと思っています。

かけがえのない、二度と戻れない飯南高校での生活。新しい世界へ一歩踏み出す子どもの背中を、後押ししてくれるものだと思います。卒業おめでとう。このさきもがんばっていきましょう。

ありがとうございました。



### 【編集後記】

♪『故郷の期待に応え先人の跡を受け継ぎ……』という校歌の一節を口にするとき、表現しようのない熱い思いがこみあげてきます。そして、いい校歌だなあとしみじみ思い、生徒たちの「正力」を、学校は育て鍛えているのかと自問自答してしまいます。

飯南高校で行っているさまざまな取り組みは、学校や生徒の力だけでうまくいっているのではなく、地域の方々の有形無形の応援や協力があって成功しているのだということを実感できた日々でした。地域のみなさま方には心よりお礼申し上げます。また、お忙しい中、原稿をお寄せくださったPTA会長様を始めとする3年保護者のみなさま、本当にありがとうございました。これから地元で、島根で、県外で、あるいは海外で、活躍していくであろう飯南高校の生徒を、今後ともご支援くださいますようお願い申し上げます。

(PTA広報委員会)

